

KSKP BUG^{バグ} No.112

発行人／関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F
編集人／〒601-8036 京都市南区東九条松田町62
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所
TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
https://kyoto-j-works.com
Eメール info@kyoto-j-works.com
編集責任者 大崎雅彦

秋



秋の深まりとともに、
色とりどりの紅葉を

イラスト / えき田大輔

目次

特集

- 特集「〇〇の秋2024」その1【食の秋】「京都餃子お肉大作戦2024秋」 2
- その2【スポーツの秋】「私が体験してきたポッチャについて」
- その3【芸術の秋】「アートフェスタ2024を振り返って」

- 昭和への旅 その十三「山城多賀フルーツライン」 5
- まどかのまど / 聖林院みみづく便り 6
- 2025年カレンダーできました 7
- nakajima's eye 8
- イベント報告 9
- あしあと 10

その1【食の秋】

【京都餃子お肉大作戦2024秋】



全国のご当地餃子とお肉が大集結!というわけで、9月21日～23日まで、岡崎公園で日本全国から集まった餃子とステーキや焼き鳥が15店舗ほどずらずらと並んでいました。僕は21日の土曜日にどんなかなと観に行きました。人は、まあまあ多くいました。



店は変わった餃子で美味しいそうな所は、人が並んでいましたが、普通の鶏から揚げとか炭火焼の焼き鳥とかは、余り並んでいませんでした。値段は、少し高く700円がほとんどで、ステーキは1400円していました。少し広い所では、大道芸人さんも来てジャグリングをしていました。建物の方では、歌とか後はいろいろとやっていました。

人の半分以上は、みやこめっせの中で今はやっている漫画の展示とか物品を買って、歩いている人も多くいました。 椿森信幸

その2【スポーツの秋】

【私が体験してきたボッチャについて】



スポーツの秋という事で、今回は私が体験してきたボッチャについて京都市障害者スポーツセンターの職員さんにボッチャについて色々聞いてきました。

[ボッチャは何処で生まれたのですか?]

ボッチャはヨーロッパで出来た車椅子使用者の重度障害者のスポーツです。

[ボッチャのルールは?]

公式戦の時はコイントスで決めます。1チームは3人です。ボールを投げれない人は蹴っても良いです。ランプという道具を使う事も可能です。当初は脳性麻痺などにより運動能力に障害がある競技者向けに考案されましたが、現在は運動能力に影響を与える他の重度の障害を持つ選手もプレーする球技です。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを、

いかに近づけるかを競うスポーツです。カーリングのように、相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるよう位置取りをしていきますが、的も弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略魅力がある競技です。





特集「〇〇の秋2024」

～ 今が最高!! 秋が来たら飽きが来た?! ～

[ポッチャの試合の進め方は?]

ポッチャとは、白いジャックボールに近づけるように、赤ボールと青ボールを6球ずつ投げ合います。ジャックボールより近い方に得点が入り全エンド終了時の合計点で勝敗は決まります。どれだけボールをジャックボールに近づけることができるかを競うシンプルな競技です。

私が体験してきた感想としては、もう何度か体験会には参加していますが、自分の障害が無い手を使って出来る競技と知りやり始める時は利き手が使えるので結構簡単に出来るだろうと思っていましたが、そんな簡単にいかず最初は思った所に投げれる迄が大変でした。かと言って今も投げれると言い切れませんが、自分の障害的に直ぐ忘れてしまうので先にジャックボールを投げた後に直ぐ自分が投げれる時はまだ比較的良い感じで投げれました。とにかくポッチャのボールを何度も投げる事をしないと上達は難しそうに感じました。 門野純平

今現在は水泳を頑張っています。

京都市障害者スポーツセンターで水泳を本格的に始めて、約15年が経とうとしています。このお話は少し前の事です。ある日の水泳練習後、職員さんに呼ばれて受付に行くと、職員さんからちょっとお話があると言われて話を聞くと新しくポッチャをやってみませんかとお誘いが体験会参加する運びになりました。

それからしばらく体験会に参加してポッチャを上手くなろうと練習を重ねていた時に電話で職員さんから大会に参加して欲しいとの申し入れがあり、当日は職員さんが声を掛けたもう一人の方と組み臨みました。作戦が上手く決まらず悩んだ試合が多く、少し諦めていましたが最後の一投が決まりなんと銅メダルが獲得出来ました。

それからしばらく体験会に参加しましたが少しずつポッチャの熱が冷めて今現在は水泳を頑張っています。 立石大翔

〇〇の秋と呼ばれるようになったのは

〇〇の秋と呼ばれるようになったのは、諸説あるようですが、過ごしやすい気候であることはもちろん、春のように、進学や就職など忙しいシーズンでは無いことが理由のようです。

またスポーツの秋は、1964年の東京オリンピックの年が契機とのこと。開会式の10月10日がその理由。
芸術の秋というのは、1918年の「新潮」という雑誌中で、美術の秋という表現があって、そこから始まったとか。
読書、趣味、芸術鑑賞、スポーツetc…
なるほど、秋はいい季節ですね。
ゆっくり落ち着いて過ごせる時間、
みなさんも楽しんでくださいね。



アートフェスタ
ArtFesta 2024 今年のテーマは・・・
「戦い(たたかい)」



アートフェスタ2024を振り返って

毎年恒例のアートフェスタ作品展ですが、毎年ごとにテーマを決めて、ひとりひとりが作品に挑んで展示することになっています。今年のテーマは『戦い』ということで、日頃どんな戦いをしているか、それぞれ、悪戦苦闘しながら今年も作品に挑んだ方もたくさんいると思います。

簡単だと思った方もいれば、とても難しかったという方もいらっしゃるのではないでしょうか。私自身も、どんな内容で作品にしようか、結構悩んでいましたが、あとからになって、意外と簡単に出来て良かったです。

早速、アートフェスタの会場に行ってきて、ひとつひとつの作品を拝見させていただきました。『自分との戦い』『仕事との戦い』などをテーマにし、とても魂がこもっていたり、怒りや感情を表している感じがして、どれも素晴らしい作品でした。

また来年もどんなテーマになるか、楽しみながら作品に挑んでいこうと思います。 嶺田大輔



あの頃企画・・・ 2024年 昭和への旅

その十三「秋の果物」



山城多賀フルーツラインに行った思い出

私が小学校4年生か5年生ぐらいの頃、近所のみんなで山城多賀フルーツラインに行ったことは覚えてます。行ったのは秋ぐらいで、みかん狩りしてからみんなで輪になってみかんを食べたことを何となく思い出して、懐かしく感じました。

そんな中で、誰がみかんを多く食べられるか競争したり、みかんの早食い競争とかしたりして、とても楽しかったです。行く時は新田辺まで電車で、新田辺からバスに乗って、たぶん？多賀口バス停で降りて、そこから歩いて行ったことは記憶にあります。帰る時も同じルートでした。とても遠足気分になりました。

聞いた話によれば、今は山城多賀フルーツラインが無くなったと聞いて、とても残念な気分になりました。40年以上も昔になりますが、当時まだ少年だった私にとっては、とてもいい思い出になっています。

(えき田大輔)

「食」の中にあつた四季の移ろいや彩り

今回は筆者が幼かつた昭和の頃の「食欲の秋」の思い出を少しだけ辿ってみたい。筆者の中の秋のイメージといえば食べ物である。幼い頃の秋に関する記憶は食べ物のことばかりである。「食欲の秋」とはよくいったものである。最も古い思い出は、知人の所有する山で松茸を持ってバンザイをしている自分の姿である。3歳から4歳頃のおぼろげな記憶しかないのだが、古いアルバムに証拠の写眞が残っている。松茸狩りだけでなく、芋掘りも忘れられることのできない幼少期の秋の風景のある。おっかなびっくりしながら土に触れていた覚えがある。さつま芋や松茸以外にも秋の味覚はたくさんある。栗やキノコ、秋刀魚などがその代表格といえるであろう。昭和の食生活や食卓には秋の風情や情緒が残されていたとしみじみと思う。「食」の中にあつた四季の移ろいや彩り等の感覚が失われてきているような気がする。(八木俊幸)

Madoka no Mado



と、心の中で呟いています。

私が思うのは、日本の福祉は硬すぎると思います。
車いすを作り変える時など、何年までは新しくしたらダメとか言うけど、使う本人は必要やから言ってんのやけどなあ。と、心の中で呟いています。
これからもっともっと上に書いたような事がうまくできるようになっ
りすると、生きていきやすい世の中になっていくと思うんですけど、
いつになることやら。

ところで、そんな私は車いすに乗ってることなどは、へっちゃらです。
遊びに行くことが大好きで、車いすに乗ってヘルパーさんとあっちこっちへ出かけたりして、は
しゃいでます。でも、ちょっと困ることもあって、自動販売機が一人で使いにくい。
ジュースを買うけど、買ったジュースが取りにくい。
もう、そんなところでバリアフリーにしてくれたら、みんなが使いやすいやろなあと思います。
ここで見えてくるのが、あんまり日本人て人のことを考えてなくて自分が良ければいいのかなあ。
そのへんも変わって欲しいなあって思います。

どうしてワークスはこんな愉快な人が多いのだろう



maybe 所員

聖林院みみづく便利

～自立生活・来年のカレンダー～

☆聖林院での清掃活動も終わり皆がポチポチと帰宅の用意を始める人も居たりしている時に、1人暮らし歴の長いスタッフが自立生活しているとたまに変な事を介助者に言うてしまうと話しました。みみづくさんもどんなこと言うたんや?と興味津々の顔で聞いているともう自立生活もベテランなスタッフが変な事を言う訳が無いと思ひ聞いていると、そのスタッフは、介助者になにやら氷を洗って欲しいとお願いしたそう。さあてこれを聞いたみみづくさんの頭の上に一体幾つの?が並んだであろうか。このスタッフやはりただ者では無いなと思ったみみづくさん。どうしてワークスはこんな愉快な人が多いのだと思ひみみづを悩ましていたらしいとある日の火曜日の夕方。この真相は誰が解るねんと思わず突っ込んでいたみみづくさんでした。みみづくさんに突っ込んで貰えるなんか幸せ者やなあと思ひながら聞いている者もきっと数人は居たとある日の夕暮れ。

みみづくさんが笑顔か悩んだ顔のどっちをしていたかは興味ありませんか?みみづくさんの顔をチェックしたい方は是非とも火曜日の聖林院まで火曜日はみみづくさんの顔が変わりやすいみたいですから。

みみづくさんも最近聞こえてきた事らしいのだが、耳づくさんも耳を疑いながら聞いたそうだけど、ワークスのカレンダー制作隊。正直耳づくさんも知っていたワークスの制作スピードの遅さ。のはずが今年のカレンダー制作隊は非常に珍しくや、この速さ初めて違うの?と思わずくらいに早く担当所員がイラスト制作が終わりだしているそうである。もうみみづくさんの耳の良さは尋常でないのだけみみづくさんは自分の耳を疑って聞いている話であるが、カレンダー隊でイラスト制作が終わってきた者が何人居ると聞き、みみづくさんはもう何度自分の耳を疑ったでしょうか?この答えが知りたい方は火曜日に聖林院までお越しください。



これからは落ち葉が大変



さっちゃんも頑張ってますよ



親子で「てい〜」トーク中?!

2025年 令和7年 ワークスカレンダー

めいびー所員の制作雑記

完成しました!

2025年カレンダー制作を今年の4月頃から始め出しました。作成法は毎年同じのイラストレーターを使ってのトレース作業でした。今回は丁度下絵に使ったものが自分が実際に見に行ったので自分で携帯で写真を撮ったものでやりました。ですので、自分が撮影した時と全く同じ場所同じタイミングで見た人で無い人にこれは違うと言われたら腹立っていませんが、なんかあの時あの場所で見えない人に何故違うと解るの?と思いつながら下絵とのズレ以外で違うと言われるのが何か納得いかない感で作業を続けていました。それも忍耐が付くので良いと無理やり+に考え作業を続けました。が、しかし私にとり本当に大変で泣きが何度も入りながらもコツコツと進めていきました。心中この細かさ違ったとして建てた人でも解らんとするからそこまで拘って誰が分かるのやと思いつながらの制作でした。もしまたこれを描けと言われても無理ですね。もう次は流石に嫌というか無理でしょう。もう今回ほど頑張れないような気がします。というか嫌の1言です。

そして今回は1回もう出来上がったと思った(多分間違いと思いますが)ファイルを何処に保存したか解らなくなったので同じ事を2度したと思いつ凄いい疲れしました。(解りませんが自分の勘違いで出来たと思っただけかもしれませんが)というミスも2度も繰り返して自分で勝手に凄いい疲れしていました。お前、勘違いするのもいい加減にしとけよ。と自分で何度も突っ込みましたね。

まあ色々なミスや勘違いを繰り返し早くに制作に取りかかりを始めたお陰で無事?かどうか解りませんが何とか一旦完成まで持ってこられました。それからスタッフの最終チェックでどれだけ修正が入るかは怖い所ですけども。その修正で同じようなミスをしないように管理をしっかりしたいと思います。自分だけで不安なので周りの手も借り保存し残りを続ける予定です。完全に出来るまであと何度ほど泣きが入るのか予想は出来ません。

とにかく今回のカレンダーは本当に大変でした。完成がどうなったかは楽しみにお待ち下さい。良い意味で期待を裏切れたらと思いつながら最後まで続ける予定です。

しかしというか今回の作品は本当に大変で着実に進んでいるのですが進めば進むほど難しくなっていくのももうマジ無理と何度も思いました。何度も投げ出したいくなりました。そんな思いが出るのは自分のにもう8割ほど出来て来ただろうと思っただけからなものでここまで来て辞めてたまるかとの思いもありまさに自分との戦いでもあるなこれってアートフェスタに出したい感じですがアートフェスタに出したらカレンダーとして使えなくなるのでそれは駄目なのでとにかくカレンダーとして完成することを第一に考え制作を続けましたが出来るのだろうか・・・?と何度も思いました。(maybe 所員)

卓上サイズ (B6サイズ)

岩本 永子さん 卓上カレンダー
チームワークス卓上カレンダー
アートフェスタ卓上カレンダー

ポスターサイズ (A2サイズ)

共存共栄、それでええやんカレンダー / 鈴木将太
みどりの電車 三条と四条のあいだ / 椿森信幸
五重塔 / 教王護国寺(東寺) / 門野純平
霧島躑躅と平等院 / えき田大輔

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.kyoto-j-works.com>

2025年 令和7年ワークスカレンダー主なラインナップ

京都の風景と優しき仲間たち



五重塔 / 教王護国寺(東寺) / 門野純平



みどりの電車 三条と四条のあいだ / 椿森信幸



共存共栄、それでええやんカレンダー / 鈴木将太



霧島躑躅と平等院 / えき田大輔

卓上カレンダーも
あります。



岩本 永子さん 卓上カレンダー
チームワークス卓上カレンダー
アートフェスタ卓上カレンダー*

ナ・カ・ジ・マ・ズ・ア・イ 缶蹴り、石蹴り、路地裏…
NAKAJIMA'S EYES 昭和の遊び



中嶋秀人

私は小学三年生の5月まで、中京区千本三条東入ル辺りに住んでいた。自宅の前はわりに広い、児童公園だった。

自宅前の公園ではドッジボールや缶蹴り、石蹴り。路地裏などではメンコやビー玉の取り合いしていた。正月は凧揚げ、駒遊び、羽子板やバトミントン。この児童公園には時々紙芝居が来ていた。5円か10円で杏(あんず)のジャムをつけたエビ煎餅や鼈甲飴をくれたり飴細工で鶴や亀を作ってくれた。色んな物語を読み聞かせてくれた。4つ上の

* 兄貴が中学生になり、その中学で運動会があった。それを見に行こうと千本御池を渡ろうとしてバイクに跳ねられた。幸いに軽傷で済んだ。

小学校三年生の5月に右京区に引っ越して来た頃には、桂川の土手には蛍が飛び交っていた。ソフトボールや軟式野球、缶に紐を付けて竹馬代わりにして「カッポ、カッポ」と歩く遊びをしたりした。カブトムシやクワガタを採ったり、紙と割り箸と竹籤(ヒゴ)で紙飛行機を作って飛ばして遊んでいた。夏休みは桂川に簡易プールが松尾、下嵯峨、中之島公園と三ヶ所に来て、昼は泳ぎ、夜はその川で兄貴や父親と夜釣りをしたりして、ギギ、ナマズにデッカイ鰻が釣れました。(料理の仕方が解らないので、料理の出来る人に頼んで貰う)。水晶、菊石、桜石等の鉱石を見つけては自慢していた級友もいた。

友達とアイゼンをつけて冬の愛宕山(夏の千日詣りは夜間に登り、朝に下山する)。比良山や北山縦断(美山の奥から登り大原の里に降りてきた。丸木橋を渡るのが一番恐ろしかった)等の軽登山もした。

イベント報告

Work's event

椿森信幸

故郷の家の夏まつり 8月23日

今年も故郷の家の夏祭りに出店させて頂きました。場所はいつものように出入り口の所です。夕方5時からなので、少し早く4時30分にワークスから9名で出発、ワークスの売る場所がまともに西陽が当たり、暑くってたまりませんでした。毎年のことなので20分から30分したら陽が陰ってくれました。

わた菓子とソフトクリームや釣りぼりや小物を販売。売り始めの頃ソフトアイスを冷凍庫から出して、セットしたところ、ソフトアイスが硬すぎて、少し出て機械が止まり、アイスが入っているプラスチックがひび割れするアクシデント発生。急遽、冷凍庫の蓋を開けて硬さ調整しながら再開しました。4つボツになりましたが、56個すべて夏まつりが終わるまでに完売しました。わた菓子の方は、まあまあコンスタントに、釣り堀の方もまあまあ売れて、小物は余り売れませんでした。他の店も良く売っていたようでした。舞台中央で、在日の人やらが歌ったり、スイカ割り、最後に花火大会をして丁度20時に終わりました。 椿森信幸



ワークス恒例の懇親会に参加して 8月8日

8月8日木曜日、黄桜伏水蔵で懇親会が行われました。まずは食事をしながら、黄桜ならではの日本酒やビールを楽しみながら堪能していました。食事が終わってから、日本酒とビールのそれぞれの工場を見学して、酒の製法などを学びました。私自身も日本酒とビールが大好きなので、色んなことを知ることが出来たし、本当に参加して良かったです。

今回、黄桜伏水蔵には初めて行ったけど、レストランの中や工場の中がとても綺麗で、最近OPENしたばかりなのかなと思ったぐらいでした。また来年も参加しようと思っています。今度行くとしたら、月桂冠に行きたいな。 嶺田大輔



合同交流会 9月12日

今年も無事に行う事が出来て良かったです。今年は多文化ネットワークセンターの場所を借りてやりました。ワークスの仕事のやっている内容の発表をしました。最後はみんなで記念撮影をしました。毎年、年に一回行っています。そこでお互いの活動内容の発表をしています。毎年、一度は決まりになっています。毎回、お互いのやっている作業の事を報告するようにしています。なかなか他の人の作業の内容を聞く機会がないので聞いて良かったです。大きな会場を借りてできたほうがいいと思いました。今回も大成功に年に一回の集まりが出来て良かったです。大きな会場借りて良かったです。他の作業の内容はめったに聞くことが出来ないのありがたいです。

お互いにやっている活動も違って色々発表できるのは嬉しい事です。でも自分の番が終わるまで緊張します。準備するまでが大変です。本番を迎えるまでが大変です。文章を作ったり読み合わせをしたりするのが大変です。後、読み上げる時に、文字の確認をしました。やる事がいっぱいあります。それが大変です。もっと交流を深めていけたらいいと思いました。別の仕事の内容聞けることがないのでお互いの内容を話せる場所があると嬉しく思います。合同交流会の内容でした。 鈴木翔太

あしあと (2024年7月~10月)

- 08月23日(金) 故郷の家夏祭り
- 08月24日(土) 聖林院法要
- 09月13日(金) 田中先生来所
- 09月20日(金) 京都市市バス職員研修
- 09月24日(火) 聖林院法要
- 10月10日(木) アクセス関西集会
- 10月11日(金) 田中先生来所
- 10月28日(月) 京都国立博物館見学



次号もお楽しみに。

10月27日の向島まつり2024、
 そして11月3日の東九条マダン。
 共にワークスは出店販売します。
 秋の大きなイベント、気合が入ってます(笑)?!
 詳しくは次号でご報告しますので、
 どうぞ、お楽しみにお楽しみに。

(椿森)



あとがき 編集後記 team BUG

みなさんこんにちは。秋めいてきました。いかがお過ごしですか。
 いつものことながら、機関紙もりだくさんです。(モンチッチ)

交流会については場所をかりてすることが出来ました。良かったです。
 毎年大事な会議の話し合いをするばしょであります。ワークス
 と本体と事業所と集まって話をしました。大変でした。(鈴木翔太)

小学校4年か5年の頃に、遠足気分で山城多賀フルーツラインに行ったことを思い出して、昭和の思い出として、
 記事を載せていただきました。毎年恒例のアートフェスタの作品展で、今年も作品を出させていただきました。
 会場に行って、ほかの作品を拝見し、どれも熱く盛り上がった作品でした。もう一つ、懇親会で美味しいお酒を
 飲んだことも楽しい思い出になっています。(峠田大輔)

もう来年の用意を始めてもた・ぶ・ん全然良い時期です。それに間に合わせる為ワークスのカレンダー担当所員
 一同イラスト制作に必死のバッチでした。生意気で申し訳ありませんが、またまた私もイラスト制作しました。
 毎回自分で難しいイラストに挑戦してしまい困っております。が、それも今号発行前に終わる事が出来たので凄
 い気分がスッキリしています。だからといってBUGの編集の力になれたという訳では全然ありません。毎度情け
 な過ぎなのがmaybeです。(maybe所員)

姫のつれづれ日記

~みんな違って、一緒~ demi

